

2023 年チャンピオンリーグ改善案

かねてからチャンピオンリーグに対して以下の要望があった。

- ① チャンピオンリーグ出場を目的とした協会登録が増えてきている。
- ② チーム数が増えて初級者が出場できる機会が減っている。(男子 8 部が抽選になっている。またトーナメントのため 1 試合で終わってしまう。)

①に対して

市内で活動している人が増えることは協会の会則に沿っているため歓迎すべきだが、実際は近隣都市からの流入がほとんどである。「半分以上を市内関係者」との条件を付けたが、逆に「半数までは市外でも OK」ととらえられて効果が上がっていない。

対策 1：チーム数制限を設ける。(例：1 団体男女ごと 2 チームまで。)

助っ人を多く呼ぶと自分たちが出られなくなるため流入は減ると予測。

対策 2：参加費の見直し。

他市の団体戦と比べ安いと流入を助長している。増えた収入は運営の協力をしてくれる団体に還元し、運営への参加を促す。また、得点板など老朽化してる備品に当てる。

対策 3：テニス人の集いへの無料招待をやめ、優勝賞品も見直す。

②に対して

対策 1：初級クラスを設けて最低限の試合数を確保したい

対策 2：新規参入団体は初級に出なくても良いこととする。

今まではどんなに強くても最初は一番下のトーナメントからの参加としていたが、実力差が大きかった。

改善案に対していただいた意見（その１）

<チーム数制限を設けることについて>

- ・反対。1 団体といっても人数が 100 名規模のところもあれば 10 名程度のところもあります。チーム数で制限を掛けることは大規模団体(これらはきっと従来から FTA を支えてきた団体と思います)が参加できなくなることを意味します。
- ・チーム数を制限するのではなく参加者全員「市内関係者」とするのが良いのではないのでしょうか。
- ・出場チーム数に制限を設ける必要があると考えます。構成人数によって登録費用が異なるので、考慮しても良いかもしれません。具体的な構成人数やチーム数でシミュレーションしてみてください。
- ・妥当と思います。
- ・チーム数については 2～3 つくらいの上限を作ったほうが平等のように思います。
- ・コート確保面数が減少しているのに対し、チーム数制限を設けることに関してはやむを得ないと思う。
- ・チーム数制限をすることによって、逆にチャンピオンリーグ出場を目的とした新規参入団体の増加が懸念である。活動実績を精査した上で判断してもらいたい。
- ・チーム数制限を設ける前に参加資格を市内関係者に絞る（助っ人禁止）（これは最優先にしたい）
そのうえでチーム数制限は完全一律ではなく、団体の規模に多少配慮してほしい。（例：100 人以上は 3 チームなど）
- ・協会登録数の増加が課題ですね？市外在住者の参加増加は混同してほしくないと思います。
団体の加入者数に応じて登録数を制限するのが公平と考えます。
- ・上位リーグでは協会が手配する会場だけではなく、各団体でコートを確保するようにすると安易な登録は減るのではないのでしょうか。
- ・藤沢市関連以外のメンバー構成について、参加者の比率でなく人数を限定する（1-2 名）したほうがいいのでは。
- ・「チャンピオン」という大会名がよくないのではないか。藤沢市内の団体戦という意味合いで「藤沢リーグ」に大会名を変えるべき。
- ・チーム数を制限したところでサークルが分離して新規団体を立ち上げるだけ。新規団体は 3 年間出場できないなどの制約を設けるべきである。
- ・協会の各種事業に協力せず試合だけに出ている団体が多い。協会行事に貢献してる度合いに応じてチーム数を決めてはいかがでしょうか。参加するために最低でも 1 回は理事会に出席するなど。

改善案に対していただいた意見（その２）

<参加費の見直しについて>

- ・特に反対でもありません。
- ・参加費用も上げることに賛成です。現行費用は安すぎると思います。
- ・コートを確保するために必要であれば良いのではないかと思います。
- ・妥当と思います。
- ・参加費は受益者負担から、もう少しアップしても良い。
- ・参加費の見直しはよいと考えます。ただし、参加抑制では無く必要費用を算出、明確化して行っていたきたい。
- ・備品に充てるのであればチャンピオンリーグに限らず、年会費や各大会参加費を見直すのが公平ではありませんか。

<テニス人の集いへの無料招待廃止について>

- ・特に反対でもありません。
- ・妥当と思います。
- ・テニス人の集いへのお金の使い方の見直しの方向は賛成。
- ・テニス人の集いの目的を再考いただき、無料招待としている経緯を考慮した上で判断いただきたい。

<初級クラスを設けて初級者の試合数を増やすことについて>

- ・初級の意味が曖昧です。勝っても上位リーグに行けないのであれば、もはやチャンピオンリーグではない。チーム戦と一緒に思ってしまいます。
- ・チーム数の対策を取れば男子 8 部もリーグにすることで試合数が確保できるものと思われる。8 部の参加チームの平均のテニス歴を集計し、5 年未満であれば、初級クラスに割り振る、その他は 8 部①、8 部②にするなどでよいのではと思われる。
- ・初級クラスはチーム対抗戦で作ればよいのではと思います。
- ・7 部内に 2 チーム入っている場合、初級クラスに参加可能か？
- ・初級者の参加機会拡大は歓迎します。トーナメントでは無くリーグ形式（ブロック制）で 3 試合程度は確保するのがよいと考えます。試合数確保の為、協会が確保する会場だけでは足りなくなるのですが、不足する分は上位リーグを各団体手配としてトライしてもよいと考えます。

<新規参入団体が初球を飛ばしてリーグ戦に参加できることについて>

- ・初級に出なくても 8 部には出ないといけないですね？この対策の意味するところは何でしょうか？
- ・現状のリーグと初級者リーグを併設するのであれば、新規参入団体が初級者クラスを選択するか、上位リーグへの参加を選択するかによると思います。

改善案に対していただいた意見（その3）

<その他>

- ・ 会議で決めた結果について異論はありません。
- ・ 参加もしていませんし、チャンピオンリーグの詳細もわからないので意見としてはありません。
- ・ 試合の形式についてはコート数を確保できていないのであれば、前年と同様の方式にするしかないように思います。
- ・ 現状で特に支障は感じません。
- ・ 競技部の改善案でいいと思います。
- ・ コート面数の確保については、企業やスクールのコートを確保することも視野に入れていく必要があるのではないか。しかしながら弊社の場合、次月のコートを半月前に申し込みを行っていくため、大会の日程に合わせていくのは難しいかもしれない。
- ・ 特にないです。
- ・ 試合はなるべく多く実施したくトーナメントよりリーグ戦の方が望ましい。
- ・ 提案：部の構成(チーム数、階層)を減らしてトータルの試合数を減らす。

1 - 9 部 各 6 チーム ($15 \times 9 = 135$ 試合)を

1 部 5 チーム、 2 部 5x2 チーム、 3 部 5x3 チーム、 4 部 5x5 チーム、 (10 x 10 100 試合)

それぞれの部の 1 位が昇格、上位の部からは該当数降格、これであれば例えば 4 部のリーグ構成で参加チーム数の調整も可能。場合によっては 4 チームのリーグも含む。

毎年部の中では抽選でグループ分けをすることで違うチームとの対戦も増える。